

都農町 地域資源マップ

18班・西田慎之介
・近藤佑真
・土居愛実
・萩原菜摘



桃太郎ファイト

大玉のトマト（桃太郎ファイト）の収穫最中のハウスを見学した。ハウスの中はとても暑く、40℃を超えることもあるらしい。基本的に涼しい時間帯である早朝と夕方に農作業をするようだ。また、農家さんのご厚意で収穫したトマトを食べさせてもらった。農家さんの思いがたくさん詰まっていてとてもおいしかった。（萩原 記）



かぼちゃ畑

かぼちゃ畑で農作業をしている男性にお話を聞いた。40年ほど“すずまるん”というかぼちゃを育てていて、六月ごろに収穫し、農協や関西・関東に出荷している。今年は例年よりミツバチの数が少なかったため、人の手で受粉しなければいけなかったようだ。高齢化が顕著になっているとおっしゃっていた。（萩原 記）



牛

牛の飼育とトマト栽培を兼業で行っている方に話を聞いた。片方だけを行うと生活ができないため兼業することを選んだとおっしゃっていた。牛は親が31匹、子が19匹で5月と8月以外はセリを行っている。子牛でも一日で5〜6キロのえさを食べるため自分で作っているらしい。（土居 記）



藤見公園

大きな陸上競技場やサッカー場、野球場などを備えている公園。実際に見ると野球やサッカーの中学校の試合や社会人チームのホッケーの試合などが行われていた。自分たちが見た以外にもテニスコートやソフトボール場、室内競技場なども備えている。ドッグランや子供たちのキャンプなど様々なイベントが開催されている。（西田 記）



偶然見つけた祠

木々に囲まれた場所に小さな入り口があり、入ってみると小さな祠と古い木のベンチが二つあった。内部は蜘蛛の巣でおおわれていたり、お供えされている水はにぎり、お花は彼果てていて今はだれも管理していない様子であった。祠は石造りでところどころひびが入っていて年季が感じられた。（近藤 記）



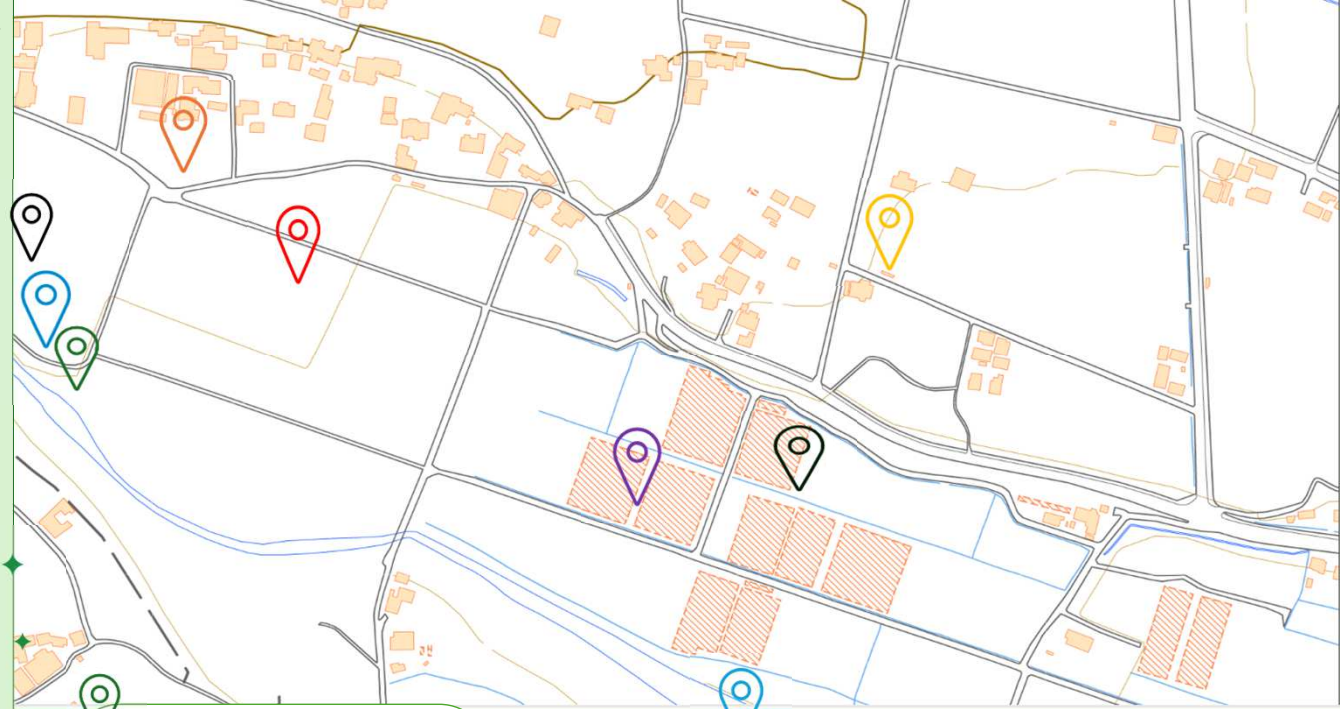
有機栽培のお米

都農町の議員さんが栽培されている田んぼ。議員さん自身が有機農業を行い、育てたお米を試食して、普通のお米と比べるという取り組みを行われていた。現在、高鍋町と木城町が協同で有機農業を行っていて、そこに都農町も参加して有機農業ベルトを造ろうとされているらしい。とても明るく、気さくな方々で、私たちの質問に対して丁寧に答えてくださった。（西田 記）



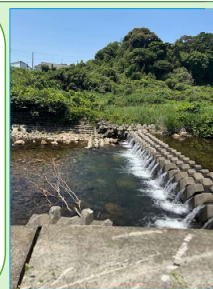
トマト農家

トマト農家をされている方に話を聞いた。40年以上液肥をまいてトマト栽培を行っているらしい。以前はみかんを栽培していた。旬は2〜3月で市場に出荷される。（土居 記）



都農川

都農町を横断するように日向灘へ流れ込む川。私たちが訪れた地区では大きめの意志が多くみられた。また写真にもある通り、簡易的なダムのような設備も作られていることから、大雨の場合には氾濫することもありうる川田ということがわかる。水温は程よく気持ちよく、生物はぱっと見では見られなかったが水質はとても透き通っており生物の生息は確実だろう。また、都農町の議員さんとお話した際にこの周辺をプールとして利用するという考えがあることがわかり、今後一層町民に愛される場となるに違いない。（近藤 記）



〜まとめ〜

実習前調査ではほとんど場所の情報が集まらずにマップを作るかどうかすら不安なまま当日になった。地図と今いる場所を何度も照らし合わせながら自分たちの担当の地域の調査を始めた。初めにお話を聞いたのはかぼちゃ畑の農家さんであった。お話を聞いてみる機会もなかなかない中で、質問をお話の中で探り探り考えていった。都農町のことだけでなくほかの地域の話題や農業分野の話題なども展開できた。この地域で出会った人たちは高齢者から若者、さらには都農町議員と様々な年代の方々の協力をいただき、地域における産業の在り方や暮らしを知ることができたことは貴重な経験である。

